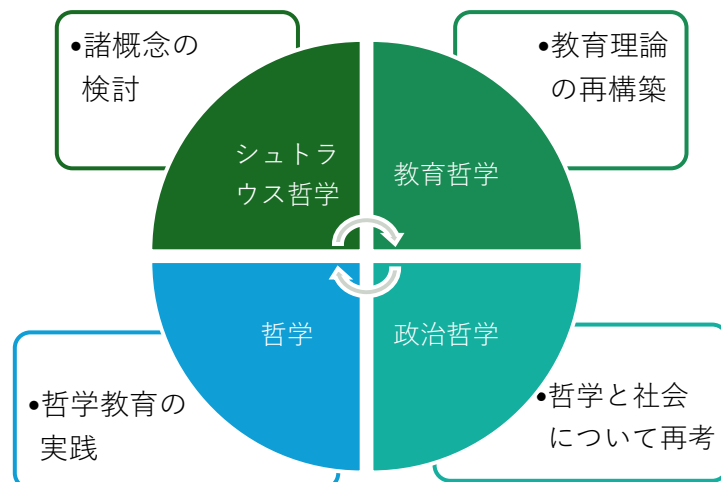


哲学と教育の関係についての研究ーレオ・シュトラウスの思想を中心にー

関連キーワード： レオ・シュトラウス、哲学教育、政治哲学

研究内容

レオ・シュトラウス哲学の内実について、教育哲学と政治哲学を総合的に捉えた視点からの研究を行っている。特に、リベラル・エデュケーション、哲学教育に着目しながら関連する議論の検討を進めている。具体的には、なぜ現代社会で哲学が重要なのか、哲学と社会の関係はいかなるものであるのか、またはいかにあるべきかについて、哲学による人間形成を通じたあるべき社会の形成とはいかにして可能かという政治哲学的見地を視野に入れて考察している。その際には特に、哲学と社会の関係について先鋭的な主張を行ったシュトラウスの議論を参照している。シュトラウス哲学において対立している哲学概念群（自然と歴史、哲学と政治、啓示と哲学、古代と近代など）についての分析が、多様な価値観の中でいかに生きていくかという指針の一つともなりうる、哲学教育の実現に資すると思われる。



研究者プロフィール

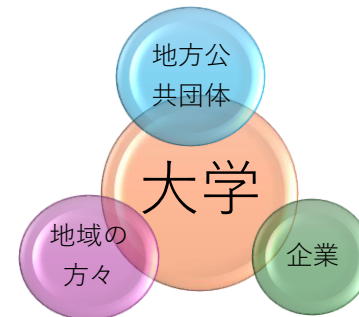
教養教育センター助教
志田絵里子

専門分野：教育哲学

所属学会：教育哲学会、日本教育学会、政治哲学研究会

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

地域の方々や企業、地方公共団体とともに、大学の施設と研究成果を活かして「哲学カフェ」「哲学書の読書会」「講演会」など哲学に関わるイベントの企画・開催が可能。



研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122